

中止の学会費用を
日赤県支部に寄託

県立大薬学部

県立大薬学部が中心になつて企画していた日本薬学会第131回年会が東日本大震災の影響で中止になったのを受けて、奥直人学部長が14日、参加予定者273人が支払つていた284万4千円を、被災地の義援金として日本赤十字社県支部に



望月事務局長（左）に義援金を手渡す（右から）山田副学長、蔵岡さん、奥学部長—静岡市葵区の日本赤十字社県支部

寄託した。

奥学部長と山田静雄副学長が静岡市葵区の同支部を訪れ、望月利孝事務局長に手渡した。同時に、今春の同学部卒業生と大学院薬学研究科修了生の約140人が寄せた50万円を、薬学研究科1年蔵岡史織さん(22)が義援金として望月事務局長に託した。

それぞれの費用は、学会参加予定者の懇親会と、大学への記念品贈呈に充てる予定だった。